

【知事挨拶】

沖縄県知事 仲井眞弘多

ご紹介いただきました県知事の仲井眞です。

きょうのこういう集まりの趣旨を今、宮城さんが申し上げたとおりでございます。私がかくどく言う必要もないんですが、沖縄の失業率は今8.6%と言われているんです。先月ですね。ですが、日本全体では5.2%ぐらいですかね、今3.5%ぐらい失業率が高い、いつでもそういう状態なんです。ですが日本に復帰をした37年前もそうだったかというところ、そうでもないんです、実は。ほとんど完全雇用に近い、つまり全員が働いていたと、働けたと。1%か2%ぐらいなんです。だから沖縄でも、当然みんなが働きたいという人、働く能力がある人、すべてが働けるという状態をぜひつくろうと。

人間、高等学校、中学校を出、高校を出、大学を出たりすると、みんな働かなければいけません。そして結婚をし、子どもを育て、親の面倒を見、立派ないい社会をつくっていかうという、こんなものは申し上げるまでもなく、どなたでも女性でも男性でも、若い人でも中年の人でも、場合によってはお年寄りでも働きたいという人には、仕事があるという状態をつくろうと。今お話をされたように、約4万人、あと一、二年の間にプラスできれば、日本全体の平均になります。しかし実際はもっともっと、沖縄の経済活動、沖縄のいろんな仕事が活発になれば、あっという間に今度は人手不足にすらなるわけです。沖縄でもいろんな仕事がありますよ。観光とかITとか、そういう仕事に加えて、私が前にいた電力の仕事もあれば、それから建設業もある、ホテルで働くこともある。農業もある、農業といっても、文字通り、畑でマンゴーをつくる人もいれば、野菜をつくる人もいます。畜産で肉を加工する人もいます。そして水産でモズクをつくる人、海へ出て魚をとる人、養殖、養魚をする人。さらに林業といって、やはり木を育てて、これを我々の生活の材料にしていこうと。それはまたキノコ類をつくるのも林業に入ります。いろんな仕事は実はあるんです。ですから人それぞれが自分の才能、自分の個性に向けた仕事を、なるべくたくさんつくって、沖縄中で働きたくても職がないという状態だけは解消しよう。それがないと、子供を育て、文化・芸能・スポーツ・空手・沖縄の伝統をそのまま受け継いでいくことができなくなる。

みんなが外に働きに行ったら、沖縄のこういう島はあっという間にさびれてしまう。沖縄のいろんな島々の中で、40ぐらいの島に人が住んでいるんです。あらゆる仕事がある。わざわざずっと遠いところまで行かなくても仕事があるという状態は大変大切なことです。そういうものを何とかつくっていこうというのが、私の政策の大きな一つです。

ですからこれを私一人で、あれだこれだと考えても何の意味もない。大勢の関係者の方、学校の先生、それから学生の皆さん、そして父兄。いろんな産業界の人々、いろんな人が一緒になってなるべくたくさんの仕事をつくっていこうと。その代わり沖縄の中にはできない仕事というのでもたくさんあるんです。そういうのは名古屋でもいいし、

大阪でもいいし、東京でもニューヨークでもパリでもどこでも行って、若いうちに腕を磨いて帰ってくる。そして帰ってきたら、沖縄に仕事がある。ぜひそういう状態をつくりたい。こういうことですから、どうか皆さん頑張って、仕事をつくって、仕事があれば、そして経済が発展していけばペイも上がっていくんです。仕事がなく、人だけ多いとなると、なかなか条件を改善するのは難しいんです。たくさん仕事をつくって、そして元気な県にしましょうね。頑張りましょう。グッジョブ。